

連載 私の町はどんな町⑦

久下の長土手

旧中山道は、JR吹上駅を過ぎると五米幅の狭い道が屈折しながら荒川の土手に向かっています。この辺りは昔夜盗多しと記されていますが、今も人車の往来は少なく屋敷樹が道を覆い、白昼でも妖気の漂う道筋です。

中山道は荒川の土手に上りここから久下までは『熊谷堤』といわれ、一五七四年に北条氏邦が荒川の洪水を防ぐために築いたものです。

熊谷堤に上がる手前に『権八延命地蔵』という地蔵堂があります。土手を降りた処にあるのが「権八延命地蔵」であるという両説があります。

鳥取から江戸に向かった平井権八がこの辺りで、上州の絹商人を殺害し三百両を奪ったところ、そばに建っていた地蔵さんに一部始終を見抜かれたと思ひ、地蔵に

「このことは誰にも言うな」といったら地蔵が、お前も

言うなと言ったという伝説があります。

歌舞伎では「権八ものいい地蔵」という名で出て来ます。しかし地蔵の告げ口から悪事は露見し、後日権八は鈴が森で磔刑に処せられました。

『権八延命地蔵』には元禄十一年(一六九八年)造立と陰刻されているから、延命七年(一六七九年)に処刑された権八とは年代的に符合できません。

権八を題材にした幾つかの脚本ができ、平井権八は白井権八という名で歌舞伎や浄瑠璃で上演されています。

その中でも御存知の権八が鈴が森で雲助にからまれて、雲助らを切り捨てる見事な腕前を駕籠の中から見ていた幡随院長兵衛が、お若いのお待ちなせいと声をかけ、お尋ね者と承知の上で義兄弟の契りを結び、江戸での世話を

するといふ有名な場面も、長兵衛一六五〇年に横死しているのが年代的に三〇年余りギャップがあります。人気者を組み合わせて興味深く脚色しているのだから特にケチを付

ける必要ありませんが。この権八地蔵も、権八が芝居で有名になってから造られたものと想像します。

中山道は、荒川の氾濫のたぎに再築された熊谷堤(当時は『久下の長土手』と呼ばれていました)の上を、左に荒川、右に巨大な沼地を見ながら約一里程続きます。

土手からは秩父連峰が一望でき、中山道屈指の景勝地であったと云われています。

荒川に架かる久下橋を過ぎたところから土手を降り、また狭い寂しい道となります。

その右角に『みかりや(御狩屋)跡』との看板があり、説明板に『中山道を往来する旅人相手の茶店で、(しがらぎごぼうに久下ゆべし)のこ

とば通り、袖餅子が名物であった。また忍藩の殿様が鷹狩りに来て休んだので御狩屋と呼ばれた」とあります。

その先の禅宗の古刹『東竹院』に、この辺りの豪族久下直光の質素な墓があります。

(小島 次郎)

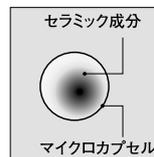


高耐候高弾性超低汚染2液形水性アクリルシリコン樹脂系塗料

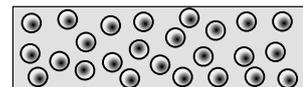
アレスアクアセラシリコン



マイクロカプセル化技術により水性塗料での親水化に成功しました。



塗料中に細かく分散し、かつ塗膜表面に配向した後、効率良く水と反応するためバクロ後、短期間で塗膜表面に親水化が発現する。



塗料中のイメージ



乾燥塗膜のイメージ

長期の美観を保つ『高耐候高弾性超低汚染2液形水性塗料』が誕生しました!

関西ペイント販売株式会社 建設塗料本部 TEL.(03)5711-8904 FAX.(03)5711-8934

東京販売部 TEL.(03)5711-8905 FAX.(03)5711-8935 ●関西ペイントホームページアドレス http://www.kansai.co.jp/